

2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月22日

上場会社名 株式会社 ニッピ
 コード番号 7932 URL <https://www.nippi-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 桂作

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 善之

TEL 03-3888-5117

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期 | 42,410 | 2.8 | 1,856 | 123.3 | 1,733 | 105.4 | 1,271 | 638.4 |
| 2019年3月期 | 43,651 | 3.6 | 831 | 58.6 | 843 | 54.5 | 172 | 81.9 |

(注) 包括利益 2020年3月期 659百万円 (%) 2019年3月期 84百万円 (%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2020年3月期 | 441.90 | | 4.6 | 2.6 | 4.4 |
| 2019年3月期 | 59.84 | | 0.6 | 1.2 | 1.9 |

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 13百万円 2019年3月期 14百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期 | 67,652 | 28,418 | 41.2 | 9,692.87 |
| 2019年3月期 | 67,910 | 27,907 | 40.4 | 9,527.35 |

(参考) 自己資本 2020年3月期 27,879百万円 2019年3月期 27,405百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2020年3月期 | 1,898 | 280 | 1,539 | 4,007 |
| 2019年3月期 | 2,034 | 3,190 | 29 | 3,948 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|-----------|----------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2019年3月期 | | 0.00 | | 50.00 | 50.00 | 143 | 83.6 | 0.5 |
| 2020年3月期 | | 0.00 | | 50.00 | 50.00 | 143 | 11.3 | 0.5 |
| 2021年3月期(予想) | | 0.00 | | 50.00 | 50.00 | | 3.3 | |

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 19,000 | 13.5 | 350 | 67.9 | 300 | 71.6 | 3,800 | 407.6 | 1,321.12 |
| 通期 | 40,000 | 5.7 | 1,100 | 40.7 | 1,000 | 42.3 | 4,300 | 238.3 | 1,494.95 |

(注) 上記の連結業績予想につきましては、今般の新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う影響を織り込んだ上で、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成しております。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年3月期 | 2,889,000 株 | 2019年3月期 | 2,889,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年3月期 | 12,740 株 | 2019年3月期 | 12,514 株 |
| 期中平均株式数 | 2020年3月期 | 2,876,355 株 | 2019年3月期 | 2,876,498 株 |

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|-----|------|---|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期 | 29,092 | 2.7 | 327 | | 360 | 4.1 | 171 | 44.9 |
| 2019年3月期 | 28,319 | 5.3 | 11 | | 375 | 76.0 | 310 | 69.1 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | 59.57 | |
| 2019年3月期 | 108.05 | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|--|--------|--|--------|--|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 2020年3月期 | 54,767 | | 24,425 | | 44.6 | | 8,492.13 | |
| 2019年3月期 | 55,006 | | 24,791 | | 45.1 | | 8,618.57 | |

(参考) 自己資本 2020年3月期 24,425百万円 2019年3月期 24,791百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の我が国経済は、生産や輸出に弱さがみられたものの、個人消費の持ち直しや雇用情勢の着実な改善が続くなど、緩やかな回復が継続しました。海外経済については、米中通商問題を巡る動向、英国のEU離脱、中東情勢等、日本経済への影響が懸念される状況となりましたが、全体としては緩やかな回復基調がみられました。しかし、昨年12月に中国で発生した新型コロナウイルス感染症が急速に世界中に広がった影響は計り知れず、世界的に先行き不透明な状況が続いていることから、今後の世界経済は大きく落ち込むことが予想されます。

このような状況のなかで当社グループは、引き続き顧客満足度の向上に努め、前年度不調であったコラーゲン・ケーシング事業における収益改善施策に取り組むとともに、旺盛な需要があるコラーゲンペプチドの販売強化に努めることで業績拡大に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、42,410百万円（前期比2.8%減）、営業利益は、1,856百万円（同123.3%増）、経常利益は、1,733百万円（同105.4%増）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、1,271百万円（同638.4%増）となりました。

セグメントの状況につきましては以下の通りであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

コラーゲン・ケーシング部門は、国内需要が引き続き低迷するなかで、さまざまな拡販に向けた取り組みを実施したものの、大きな成果は得られず国内販売は厳しい状況で推移しました。輸出販売は、競合他社との価格競争が激化するなかで、シェア拡大に努めるとともに、より付加価値の高い商品の拡販を推進するなど、収益改善施策に注力しました。また、製造部門におきましては、生産効率が大きく改善し原価が低減しました。

この結果、コラーゲン・ケーシング事業の売上高は、9,585百万円（前期比3.7%増）、営業利益は、906百万円（前連結会計年度は営業損失108百万円）となりました。

② ゼラチン関連事業

ゼラチン部門は、ソフトカプセルなどの健康食品市場、コンビニエンスストア向け惣菜用途市場、グミキャンディを中心とした菓子市場で堅調に推移しました。原料取引におきましては、アフリカ豚コレラの影響により、豚皮ゼラチンの価格高騰が続いており、輸入販売は大幅に減少しました。ペプタイド部門は、国内販売につきましては、インバウンド需要の伸長を背景に堅調に推移しました。輸出販売につきましては、魚原料不足が解消してきており、健康食品用途や医療用途で好調に推移しました。

なお、コラーゲンペプチドの新工場は、2019年8月に完成し稼働を始めており、高付加価値商品の製造開発に取り組んでおります。

この結果、ゼラチン関連事業の売上高は、9,970百万円（前期比0.4%増）、営業利益は、875百万円（同1.6%増）となりました。

③ 化粧品関連事業

化粧品部門は、成長基調が続く通信販売市場のなかで、広告宣伝に注力するとともに新商品発売による新たなターゲットの開拓に努めました。上半期においては新規顧客が増加し好調に推移したものの、消費税増税の影響を受けて下半期は苦戦しました。一方、健康食品部門は、広告宣伝の効果があり引き続き好調に推移しました。

この結果、化粧品関連事業の売上高は、4,639百万円（前期比5.3%増）、営業利益は、308百万円（同15.4%増）となりました。

④ 皮革関連事業

靴・袋物部門は、紳士靴の売上は順調に推移したものの、婦人靴用革、輸入靴及び底材用革は、需要の陰りの影響で苦戦しました。車輛部門は、主要顧客向けの裁断品及び薬品の販売については順調に推移しましたが、クラスト（生地）の販売は、中国の景気減速の影響を受けて低調に推移しました。また、第4四半期におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことなどにより売上は減少しました。

この結果、皮革関連事業の売上高は、9,569百万円（前期比11.7%減）、営業利益は、販管費の削減に努めたことにより398百万円（同5.3%増）となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

再開中の東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場用地のほか、一部を仮設学校用地として足立区に期限付きで賃貸しております。また、大阪市浪速区の土地賃貸事業は、既存契約から切り替え、同土地の新規事業の着手に先立ち、埋蔵文化財の発掘調査を行っております。

この結果、賃貸・不動産事業の売上高は、740百万円（前期比4.7%減）、営業利益は、582百万円（同4.7%減）となりました。

⑥ 食品その他事業

バイオ関連事業は、再生医療の進捗に伴い順調に推移しました。有機穀物、BSE検査キット、リンカー製品については堅調に推移したものの、イタリア食材、フィルム関連の販売は苦戦しました。

この結果、食品その他事業の売上高は、7,906百万円（前期比6.5%減）、営業利益は、円高傾向の影響もあり、238百万円（同32.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は67,652百万円となり、前連結会計年度末と比べ257百万円減少しました。これは主に商品及び製品が468百万円、原材料及び貯蔵品が647百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が933百万円、投資有価証券が547百万円減少したことなどによるものです。なお、コラーゲンペプチド製造工場の完成に伴い、建設仮勘定3,419百万円を有形固定資産等へ振り替えております。

連結会計年度末における負債は、39,234百万円となり、前連結会計年度末と比べ768百万円減少しました。これは主に長期借入金1,069百万円増加しましたが、短期借入金1,945百万円減少したことなどによるものです。

当連結会計年度末における純資産は、28,418百万円となり、前連結会計年度末と比べ510百万円増加し、自己資本比率は、41.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ58百万円増加し、4,007百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ税金等調整前当期純利益が1,608百万円(前期比92.4%増)の増益となりましたが、たな卸資産が大きく増加し、法人税等の支払額が減少した結果、135百万円(同6.7%減)収入が減少し、1,898百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ有形固定資産の取得による支出が大幅に減った結果、2,910百万円(同91.2%減)支出が減少し、280百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ短期借入金の純減などにより、1,539百万円の支出(前連結会計年度は、29百万円の収入)となりました。

(4) 今後の見通し

今後の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による個人消費の冷え込みや、外出自粛要請等の各種規制による消費者の購買行動の変化などが、国内外における経済活動へ甚大な影響を及ぼしており、厳しい景気後退が懸念されております。

このような状況のもと、当社は、引き続き生産コスト低減の施策を講じて競争力のある商品づくりに取り組んでいくとともに、社会全体の変容に対応しながら市場ニーズを的確に捉えた高付加価値商品を投入し、収益基盤の拡充を図ってまいります。

次期の見通しにつきましては、第2四半期までは新型コロナウイルス感染症の影響による減収を見込んでおり、第3四半期以降、概ね需要が回復することを前提としております。

コラーゲン・ケーシング事業は、外食など業務用向け販売の落ち込みが予想されますが、引き続き製造コストの低減や販売価格の見直しなど収益の改善に注力してまいります。

ゼラチン関連事業は、家庭用商材の需要は増加すると見込まれる一方、業務用商材は不振が続くと予想されま。逼迫していた魚原料の需給が落ち着き、価格も安定的に推移しており、今後も高付加価値商品の開発や顧客への新規提案などに注力して、収益基盤を確実に強化してまいります。

化粧品関連事業は、感染症の影響が続く中で、通信販売という販路の強みを活かし、ニーズに呼応した新商品の開発、拡販に努め、継続率の向上と新規顧客の獲得を目指してまいります。

皮革関連事業は、輸入靴及び婦人靴用革の需要減により厳しい状況が続くと見込まれます。また、自動車ハンド用革は、各国における自動車減産に伴う減収が予想され、今後、事業全体の一層の効率化を図ってまいります。

食品その他の事業は、外食など業務用向けのイタリア食材が減少すると予想されます。一方、再生医療関連については、今後も市場が拡大していくものと見込んでおり、その中で基材となる細胞外マトリックス関連商品の開発、販売を引き続き推進してまいります。

そのほか、本社所在地である東京都足立区千住における土地再開発事業の一環として、当社所有の一部不動産を集合住宅用地として譲渡し、固定資産売却益5,284百万円を特別利益として計上する見込みであります。また、大阪市浪速区の土地賃貸事業は、開発計画に沿って推進してまいります。

以上により、2021年3月期の連結業績見通しは、売上高40,000百万円（前期比5.7%減）、営業利益1,100百万円（同40.7%減）、経常利益1,000百万円（同42.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益4,300百万円（同238.3%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、国内の同業他社との企業間比較及び期間比較の可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当連結会計年度 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,121 | 4,180 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,564 | 7,630 |
| 商品及び製品 | 7,533 | 8,001 |
| 仕掛品 | 448 | 641 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,221 | 1,868 |
| 未収還付法人税等 | 222 | 6 |
| 未収消費税等 | 366 | 844 |
| その他 | 626 | 595 |
| 貸倒引当金 | △76 | △75 |
| 流動資産合計 | 23,027 | 23,693 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 17,054 | 19,121 |
| 減価償却累計額 | △9,113 | △9,762 |
| 建物及び構築物(純額) | 7,940 | 9,359 |
| 機械装置及び運搬具 | 10,553 | 12,751 |
| 減価償却累計額 | △9,633 | △10,478 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 919 | 2,272 |
| 土地 | 27,535 | 27,490 |
| リース資産 | 154 | 153 |
| 減価償却累計額 | △102 | △124 |
| リース資産(純額) | 52 | 28 |
| 建設仮勘定 | 3,495 | 76 |
| その他 | 1,161 | 1,237 |
| 減価償却累計額 | △1,023 | △1,071 |
| その他(純額) | 137 | 165 |
| 有形固定資産合計 | 40,080 | 39,392 |
| 無形固定資産 | | |
| リース資産 | 8 | 124 |
| その他 | 183 | 196 |
| 無形固定資産合計 | 191 | 320 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,217 | 3,670 |
| 長期貸付金 | 36 | 33 |
| 繰延税金資産 | 29 | 249 |
| 破産更生債権等 | 5 | 8 |
| 退職給付に係る資産 | 22 | - |
| その他 | 396 | 378 |
| 貸倒引当金 | △104 | △96 |
| 投資その他の資産合計 | 4,604 | 4,244 |
| 固定資産合計 | 44,876 | 43,957 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当連結会計年度 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 5 | 1 |
| 繰延資産合計 | 5 | 1 |
| 資産合計 | 67,910 | 67,652 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 8,456 | 7,843 |
| 短期借入金 | 7,991 | 6,045 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 4,430 | 4,386 |
| 1年内償還予定の社債 | 160 | - |
| リース債務 | 32 | 44 |
| 未払法人税等 | 131 | 259 |
| 未払消費税等 | 246 | 39 |
| 賞与引当金 | 501 | 466 |
| 役員賞与引当金 | 45 | 53 |
| ポイント引当金 | 56 | 52 |
| その他 | 1,152 | 1,607 |
| 流動負債合計 | 23,204 | 20,798 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 200 | 200 |
| 長期借入金 | 8,226 | 9,296 |
| 長期未払金 | 470 | 807 |
| リース債務 | 50 | 116 |
| 繰延税金負債 | 902 | 856 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 4,071 | 4,059 |
| 役員退職慰労引当金 | 505 | 532 |
| 退職給付に係る負債 | 2,130 | 2,391 |
| 資産除去債務 | 6 | 6 |
| その他 | 233 | 171 |
| 固定負債合計 | 16,798 | 18,436 |
| 負債合計 | 40,003 | 39,234 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,404 | 4,404 |
| 資本剰余金 | 1,930 | 1,930 |
| 利益剰余金 | 11,376 | 12,533 |
| 自己株式 | △37 | △38 |
| 株主資本合計 | 17,674 | 18,830 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,085 | 664 |
| 繰延ヘッジ損益 | △3 | 9 |
| 土地再評価差額金 | 8,775 | 8,746 |
| 為替換算調整勘定 | 114 | 62 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △242 | △433 |
| その他の包括利益累計額合計 | 9,730 | 9,048 |
| 非支配株主持分 | 502 | 538 |
| 純資産合計 | 27,907 | 28,418 |
| 負債純資産合計 | 67,910 | 67,652 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 43,651 | 42,410 |
| 売上原価 | 34,971 | 32,604 |
| 売上総利益 | 8,680 | 9,806 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,848 | 7,949 |
| 営業利益 | 831 | 1,856 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 4 |
| 受取配当金 | 139 | 127 |
| 持分法による投資利益 | 14 | 13 |
| 為替差益 | 51 | - |
| 貸倒引当金戻入額 | - | 9 |
| 雑収入 | 82 | 44 |
| 営業外収益合計 | 294 | 198 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 188 | 193 |
| 手形売却損 | 27 | 26 |
| 為替差損 | - | 12 |
| 支払手数料 | 39 | 73 |
| 雑損失 | 27 | 15 |
| 営業外費用合計 | 282 | 321 |
| 経常利益 | 843 | 1,733 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 5 |
| 投資有価証券売却益 | 0 | - |
| その他 | 0 | - |
| 特別利益合計 | 0 | 5 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 8 | 7 |
| 固定資産売却損 | 0 | - |
| 出資金評価損 | - | 11 |
| 会員権評価損 | - | 1 |
| 土地開発関連費用 | - | 110 |
| その他 | 0 | - |
| 特別損失合計 | 8 | 130 |
| 税金等調整前当期純利益 | 835 | 1,608 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 317 | 365 |
| 法人税等調整額 | 304 | △69 |
| 法人税等合計 | 622 | 295 |
| 当期純利益 | 213 | 1,312 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 41 | 41 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 172 | 1,271 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 213 | 1,312 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △203 | △422 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | 13 |
| 為替換算調整勘定 | △116 | △52 |
| 退職給付に係る調整額 | 21 | △191 |
| その他の包括利益合計 | △297 | △652 |
| 包括利益 | △84 | 659 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △125 | 618 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 41 | 40 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 4,404 | 1,930 | 11,377 | △36 | 17,675 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △172 | | △172 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 172 | | 172 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | — | | — |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | △0 | △0 | △0 |
| 当期末残高 | 4,404 | 1,930 | 11,376 | △37 | 17,674 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|----------------------|-------------|--------------|--------------|----------------------|-----------------------|---------|--------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 土地再評価 差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付 に係る 調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 1,289 | △3 | 8,775 | 230 | △264 | 10,028 | 463 | 28,167 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △172 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | | 172 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | | | — |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △203 | △0 | — | △116 | 21 | △298 | 38 | △259 |
| 当期変動額合計 | △203 | △0 | — | △116 | 21 | △298 | 38 | △259 |
| 当期末残高 | 1,085 | △3 | 8,775 | 114 | △242 | 9,730 | 502 | 27,907 |

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 4,404 | 1,930 | 11,376 | △37 | 17,674 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △143 | | △143 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,271 | | 1,271 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | 29 | | 29 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 1,156 | △0 | 1,155 |
| 当期末残高 | 4,404 | 1,930 | 12,533 | △38 | 18,830 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|----------|--------------|---------------|---------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 1,085 | △3 | 8,775 | 114 | △242 | 9,730 | 502 | 27,907 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △143 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | | 1,271 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | | | 29 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △421 | 12 | △29 | △52 | △191 | △681 | 37 | △644 |
| 当期変動額合計 | △421 | 12 | △29 | △52 | △191 | △681 | 37 | 510 |
| 当期末残高 | 664 | 9 | 8,746 | 62 | △433 | 9,048 | 538 | 28,418 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 835 | 1,608 |
| 減価償却費 | 1,424 | 1,705 |
| 繰延資産償却額 | 4 | 4 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 28 | △9 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 13 | △35 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △3 | 8 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 74 | △15 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | 21 | 22 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 52 | 26 |
| ポイント引当金の増減額 (△は減少) | 8 | △4 |
| 受取利息及び受取配当金 | △146 | △131 |
| 支払利息 | 188 | 193 |
| 為替差損益 (△は益) | △9 | 6 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △14 | △13 |
| 固定資産除却損 | 8 | 7 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | 0 | △5 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △0 | - |
| 出資金評価損 | - | 11 |
| 会員権評価損 | - | 1 |
| 土地開発関連費用 | - | 110 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 297 | 899 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 428 | △1,333 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 67 | △582 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | 16 | △335 |
| その他の資産の増減額 (△は増加) | △175 | 60 |
| その他の負債の増減額 (△は減少) | △138 | △180 |
| 小計 | 2,982 | 2,020 |
| 利息及び配当金の受取額 | 144 | 130 |
| 利息の支払額 | △196 | △188 |
| 法人税等の支払額 | △896 | △63 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,034 | 1,898 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △151 | △1 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 300 | - |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,275 | △980 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 785 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △23 | △63 |
| 貸付けによる支出 | △3 | △0 |
| 貸付金の回収による収入 | 0 | 0 |
| 出資金の払込による支出 | △16 | - |
| その他 | △19 | △20 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,190 | △280 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △225 | △1,935 |
| 長期借入れによる収入 | 5,655 | 5,850 |
| 長期借入金の返済による支出 | △4,495 | △4,824 |
| 社債の発行による収入 | 98 | - |
| 社債の償還による支出 | △400 | △160 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △172 | △143 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △2 | △4 |
| リース債務の返済による支出 | △42 | △44 |
| 長期未払金の返済による支出 | △384 | △275 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 29 | △1,539 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △44 | △19 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,171 | 58 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,120 | 3,948 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 3,948 | 4,007 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品別セグメントごとに事業本部を置き、これら事業活動を主体として連結子会社が構成されており、「コラーゲン・ケーシング事業」、「ゼラチン関連事業」、「化粧品関連事業」、「皮革関連事業」、「賃貸・不動産事業」及び「食品その他事業」の6つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

- ①「コラーゲン・ケーシング事業」は、ソーセージ用可食性コラーゲン・ケーシングを製造販売しております。
- ②「ゼラチン関連事業」は、食品用、医薬用、工業用のゼラチン及びペプチドを輸入、製造、販売しております。
- ③「化粧品関連事業」は、コラーゲン入りの化粧品、健康食品を製造し、販売しております。
- ④「皮革関連事業」は、靴用、袋物用、自動車用皮革及び皮革関連製品等を販売しております。
- ⑤「賃貸・不動産事業」は、土地、建物、設備等の賃貸を行っております。
- ⑥「食品その他事業」は、イタリア食材、有機穀物、肥料等の輸入販売、そのほか化成品、リンカー、BSE検査キット、iPS細胞培養基質「iMatrixシリーズ」などを製造し、販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であり、セグメント間取引で生じた内部利益については振替前の数値で表示しております。

また、セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

| | 報告セグメント(百万円) | | | | | | | 調整額 (百万円) (注) | 連結 財務諸表 計上額 (百万円) |
|-----------------------|---------------|----------|---------|--------|----------|---------|--------|---------------------|----------------------------|
| | コラーゲン・ケーシング事業 | ゼラチン関連事業 | 化粧品関連事業 | 皮革関連事業 | 賃貸・不動産事業 | 食品その他事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,242 | 9,932 | 4,407 | 10,834 | 776 | 8,457 | 43,651 | — | 43,651 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 8 | — | 8 | 2,011 | — | 2,027 | △2,027 | — |
| 計 | 9,242 | 9,940 | 4,407 | 10,842 | 2,787 | 8,457 | 45,679 | △2,027 | 43,651 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △800 | 870 | 143 | 324 | 1,483 | 171 | 2,191 | △1,360 | 831 |
| その他の項目 | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 1,063 | 98 | 42 | 18 | 4 | 28 | 1,256 | 167 | 1,424 |
| 有形及び無形固定 資産の増加額 | 167 | 11 | 51 | 1 | 3 | 24 | 259 | 72 | 332 |

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額の区分は報告セグメントに含まれない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象としていないことから記載していません。
- 3 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社の減価償却費であります。
- 4 有形及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社の増加額であります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

| | 報告セグメント(百万円) | | | | | | | 調整額 (百万円) (注) | 連結 財務諸表 計上額 (百万円) |
|-----------------------|-----------------------|--------------|-------------|------------|--------------|-------------|--------|---------------------|----------------------------|
| | コラーゲ ン・ケーシ ング事業 | ゼラチン 関連事業 | 化粧品 関連事業 | 皮革 関連事業 | 賃貸・不 動産事業 | 食品その 他事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,585 | 9,970 | 4,639 | 9,569 | 740 | 7,906 | 42,410 | — | 42,410 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 7 | — | — | 1,525 | — | 1,533 | △1,533 | — |
| 計 | 9,585 | 9,977 | 4,639 | 9,569 | 2,266 | 7,906 | 43,944 | △1,533 | 42,410 |
| セグメント利益 | 664 | 883 | 180 | 335 | 1,016 | 229 | 3,310 | △1,454 | 1,856 |
| その他の項目 | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 1,025 | 406 | 56 | 18 | 4 | 30 | 1,542 | 163 | 1,705 |
| 有形及び無形固 定資産の増加額 | 648 | 3,701 | 140 | 2 | — | 139 | 4,632 | 53 | 4,685 |

- (注) 1 セグメント利益の調整額の区分は報告セグメントに含まれない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象としていないことから記載しておりません。
- 3 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社の減価償却費であります。
- 4 有形及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社の増加額であります。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 9,527.35円 | 9,692.87円 |
| 1株当たり当期純利益 | 59.84円 | 441.90円 |

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 172 | 1,271 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円) | 172 | 1,271 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 2,876,498 | 2,876,355 |

(重要な後発事象)

当社は、2020年3月27日開催の取締役会において、東京都足立区千住地区の当社保有不動産の一部を集合住宅用地として譲渡することを決議し、2020年3月27日に譲渡契約を締結しております。

なお、2020年4月27日に物件の引き渡しを行っております。

- (1) 譲渡資産の内容 土地(更地) 8,900.57平方メートル
- (2) 譲渡資産の所在地 東京都足立区千住橋戸町1番5他7筆
- (3) 譲渡先の概要

| | |
|---------|------------------------|
| 名称 | 株式会社長谷工コーポレーション |
| 所在地 | 東京都港区芝二丁目32番1号 |
| 代表者 | 代表取締役社長 辻 範明 |
| 主たる営業内容 | 建設事業 不動産事業 エンジニアリング事業 |
| 当社との関係 | 資本的関係、人的関係、取引関係はありません。 |

- (4) 譲渡資産の譲渡価格 7,340百万円

- (5) 当該事象の損益に与える影響額

当該固定資産譲渡により、2021年3月期第1四半期連結決算において、固定資産売却益5,284百万円を特別利益に計上する見込みであります。